

第92期 報告書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日



Kasai

河西工業株式会社

証券コード No 7256

株主の皆様へ

河西グループは
誠意と新しい技術の創造によって
価値ある商品、サービスをグローバルに提供し、
顧客、株主、従業員をはじめ、
全ての関わる人々の幸福を実現します。



代表取締役社長
社長役員

半谷 勝二

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社第92期（自2022年4月1日 至2023年3月31日）の事業の概況等についてご報告申し上げます。
当連結会計年度における世界経済は、米銀の経営破綻を契機に金融システム不安が台頭し、米欧景気の先行き不透明感が強まる状況が続いております。米国では金融引き締めが続く中、複数の米銀が経営破綻し、金融環境が悪化しており、景気回復に暗雲が見込まれ経済への悪影響も大きくなることが想定されております。欧州においては、大手金融機関の経営不安が見られ、景気は回復基調ですが先行き不透明感が強まる懸念があります。中国では、景気が回復、ゼロコロナ解除も受け、サービス消費改善、不動産投資も改善の兆しが見られます。アジアでもゼロコロナ解除により景気は底堅いと見られているものの、輸出依存度が高い地域では世界経済や半導体サイクルを反映し、先行き不透明な状況となっております。
わが国の経済は、訪日外客数増加に伴うインバウンド増加等により景気回復が見られますが、物価高による消費下押し等から景気への影響が懸念されております。
当社グループの関連する自動車業界では、新型コロナウイルス感染拡大の影響に加え、中国のゼロコロナ

政策、ウクライナ侵攻発生などを背景としたサプライチェーン混乱及び車載向け半導体供給不足が続いたことによる慢性的な車両供給不足等から、世界新車販売は前年を下回る水準となりました。

このような経営環境の中ではありましたが、当社グループではグローバルな自動車内装部品メーカーとしての地位を確立すべく、品質の確保、生産性向上と原価低減活動の推進、製品開発力・技術力の強化を図っております。

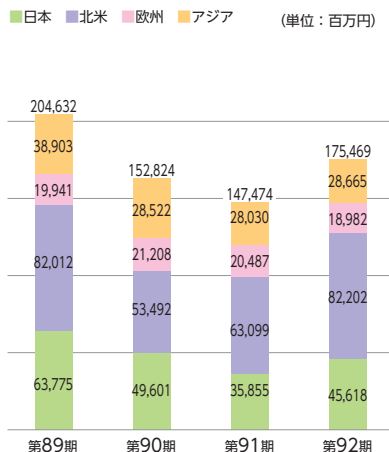
この結果、当連結会計年度の売上高は、1,754億69百万円（前連結会計年度に比べ279億94百万円増収（19.0%増））となりましたが、北米地域における急激なインフレ率の上昇による諸費用の高騰や為替の影響により、営業損失は147億90百万円（前連結会計年度は121億85百万円の営業損失）、経常損失は141億7百万円（前連結会計年度は103億56百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は136億59百万円（前連結会計年度は190億32百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

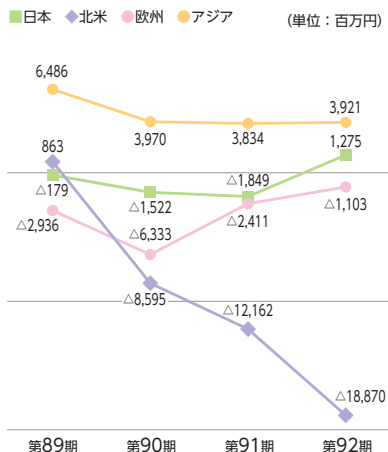
2023年6月

セグメント別業績

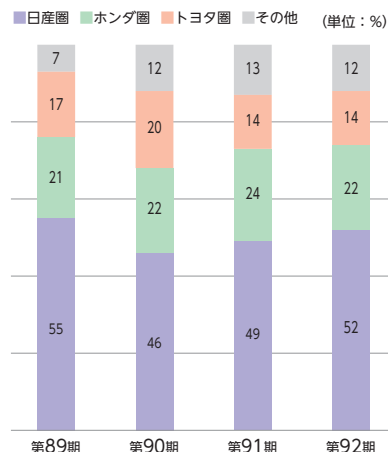
セグメント別売上高 (連結)



セグメント別営業利益又は損失 (連結)



得意先別売上シェア (連結)



(日本)

主要得意先の生産台数増加により、売上高は456億18百万円と前連結会計年度比97億62百万円の増収(+27.2%)となりました。加えて支出抑制や人員減少等によるコスト圧縮により、セグメント利益は12億75百万円(前連結会計年度はセグメント損失18億49百万円)となりました。

(北米)

主要得意先の生産台数の増加や円安による為替影響により、売上高は822億2百万円と前連結会計年度比191億3百万円の増収(+30.3%)となりました。しかしながら、急激なインフレ率の上昇による諸費用(労務費、材料費、物流費、電力料等)の高騰や新規車種立上げ関連費用の増加、為替の影響により、セグメント損失は188億70百万円(前連結会計年度はセグメント損失121億62百万円)となりました。

(欧州)

部品供給問題による生産台数の減少や、欧州地域の工場の閉鎖並びに拠点解散に伴い売上が減少したため、売上高は189億82百万円と前連結会計年度比15億5百万円の減収(△7.3%)となりました。一方で、採算性の低い工場の閉鎖並びに拠点の解散に伴い費用の抑制が図られセグメント損失は11億3百万円(前連結会計年度はセグメント損失24億11百万円)となりました。

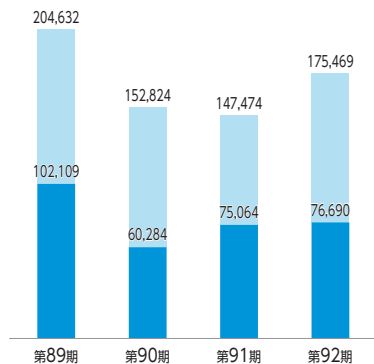
(アジア)

中国では生産台数の減少が継続していますが、アセアン地域の生産台数が回復し、売上高は286億65百万円と前連結会計年度比6億34百万円の増収(+2.3%)となり、セグメント利益は39億21百万円と前連結会計年度比86百万円の増益(+2.3%)となりました。

財務ハイライト (連結)

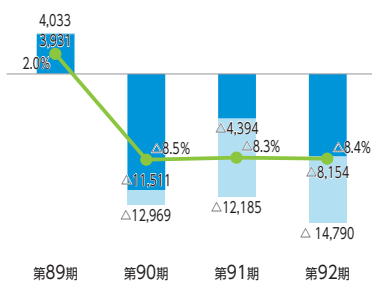
売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)



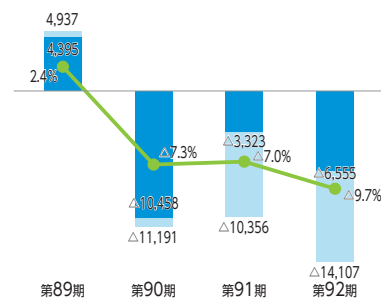
営業利益 / 通期営業利益率

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)
● 通期営業利益率



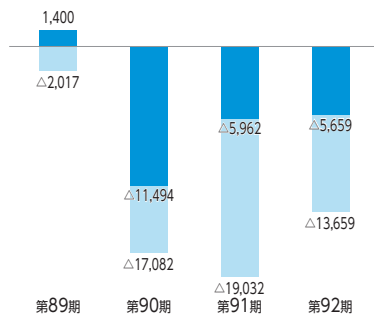
経常利益 / 通期経常利益率

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)
● 通期経常利益率



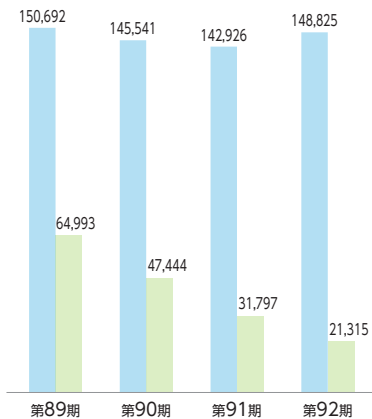
親会社株主に帰属する当期純利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)



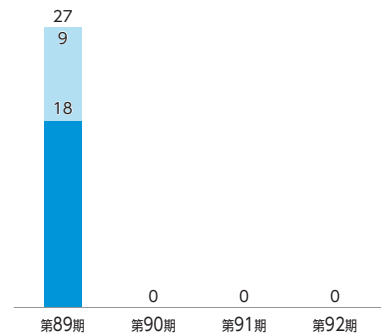
総資産 / 純資産

■ 総資産 ■ 純資産 (単位：百万円)



配当金

■ 中間 ■ 期末 (単位：円)



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	第92期 2023年3月31日	第91期 2022年3月31日
(資産の部)		
流動資産	86,882	80,824
固定資産	61,942	62,102
有形固定資産	49,573	50,990
無形固定資産	269	401
投資その他の資産	12,100	10,710
資産合計	148,825	142,926
(負債の部)		
流動負債	106,750	82,915
固定負債	20,760	28,214
負債合計	127,510	111,129
(純資産の部)		
株主資本	9,490	23,150
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,652	5,652
利益剰余金	△1,447	12,211
自己株式	△535	△535
その他の包括利益累計額	1,994	△816
非支配株主持分	9,830	9,463
純資産合計	21,315	31,797
負債純資産合計	148,825	142,926

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	第92期 自2022年4月1日 至2023年3月31日	第91期 自2021年4月1日 至2022年3月31日
売上高	175,469	147,474
売上原価	171,232	142,864
売上総利益	4,236	4,609
販売費及び一般管理費	19,027	16,795
営業損失(△)	△14,790	△12,185
営業外収益	2,184	2,537
営業外費用	1,501	707
経常損失(△)	△14,107	△10,356
特別利益	3,137	543
特別損失	743	6,674
税金等調整前当期純損失(△)	△11,713	△16,486
法人税、住民税及び事業税等	1,560	1,999
法人税等調整額	△857	△631
当期純損失(△)	△12,416	△17,854
非支配株主に帰属する当期純利益	1,242	1,177
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△13,659	△19,032

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	第92期 自2022年4月1日 至2023年3月31日	第91期 自2021年4月1日 至2022年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,896	2,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,741	△3,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,343	6,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,453	1,839
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,641	6,549
現金及び現金同等物の期首残高	26,042	19,493
現金及び現金同等物の期末残高	30,684	26,042

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

トピックス

1. Jaguar Land Rover より「Quality Award」を受賞

当社の欧州拠点であるKASAI UK LTD（以下、KUK）は、ジャガー・ランドローバー社（以下、JLR社）よりJaguar Land Rover Quality Award（以下、JLRQ賞）を授与されました。JLRQ賞は、主要業績評価指標（KPI）を測るためのJLR社のサプライヤー管理システムで、生産能力・KPI達成度・生産現場に関するサプライヤーのパフォーマンスを評価して授与されるものです。

KUKは、2018年よりボディサイドトリム及びバックドアトリム部品の供給について、継続的な高品質の部品供給をJLR社から認められた証として、KUKとして初の受賞となりました。当社は、今後もお客様の多様なご期待に応えられるよう努力し、取引の拡大を目指してまいります。



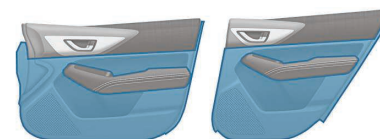
JLRQ証明書

2. 薄肉高発泡成形によるサステナブル製品開発

当社は従前より車両の軽量化に貢献できる技術研鑽を続けてきましたが、新たに、薄肉高発泡成形の開発に成功しました。

これは、使用するプラスチック材料の削減と製品性能を両立させる技術で、更なる車両の軽量化、CO₂削減に貢献します。これにより、従来品比較20%という業界トップレベルの軽量化が実現でき、2023年発売の車両に採用されることとなりました。

当社は、これからも新しい自動車内装価値の創造に取り組み、お客様に提供してまいります。



（部が適用部位です（画像はイメージ））



（発泡断面画像）

3. 先行開発の発信基地「WAKUWAKU BASE」開設

2023年2月 カーマーカー並びに協力企業の皆様向けの新しいプレゼンテーションルームを開設いたしました。新しいプレゼンテーションルームは、河西サステナビリティ方針に沿って、私たちの開発の考え方や将来に向けた取り組みの発信基地という意味を込めて「WAKUWAKU BASE」と名付け、コンセプトモデル、VRコンテンツ、環境に優しい新材料開発、快適製品の先行開発等のアイテムを展示しております。

当社は、お客様との対話から新しい価値を創造し、モビリティ社会の快適空間の実現を通して、成長を目指してまいります。



会社概要 (2023年3月31日現在)

商号	河西工業株式会社
事業	自動車内外装部品の製造・販売及びこれに付帯する一切の事業
創業年月	1912年1月
設立年月	1946年10月
資本金	58億21百万円
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
従業員数	単独573名 連結7,865名

事業所

本社 神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地

富士宮事業所 静岡県富士宮市北山4839-24

子会社 国内3社 海外15社

関連会社 国内2社 海外5社

役員 (2023年6月28日現在)

代表取締役社長 社長役員	半谷勝二
取締役 副社長役員	山道昇一
取締役 常務役員	糟谷充彦
取締役	結川孝一*
取締役	児玉幸信*
取締役	三原康弘*
取締役 監査等委員	伊豆野学*
取締役 監査等委員	横山和彦*
取締役 監査等委員	城戸和弘*

(注) *印は社外取締役であります。

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 127,695,000株
発行済株式の総数 39,511,728株
(うち自己株式663,235株)

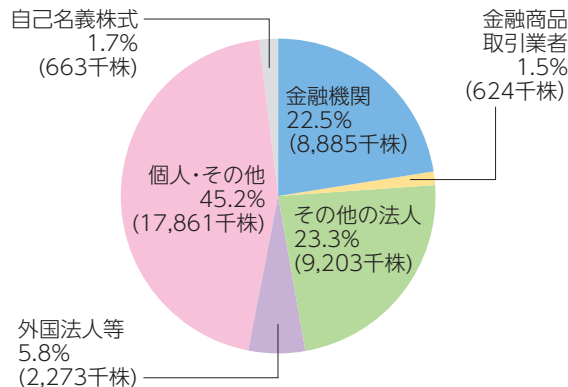
株主数 20,023名

大株主 (上位5名)

株主名	持株数	持株比率
長瀬産業株式会社	5,404 千株	13.9%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	2,075 千株	5.3%
株式会社りそな銀行	1,825 千株	4.7%
株式会社タチエス	1,692 千株	4.3%
河西工業取引先持株会	1,484 千株	3.8%

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL：0120-232-711 (通話料無料) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告 (https://www.kasai.co.jp/) やむを得ない事由によって電子 公告による公告ができない場合 は、日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●ホームページのご案内

企業活動全般の情報や決算発表資料等を適時掲載しておりますので、是非ご利用ください。

<https://www.kasai.co.jp/>



KASAI KOGYO CO., LTD.

**UD
FONT**